

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 エキサイトホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5571 URL https://www.excite-holdings.co.jp/
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 西條 晋一
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役CFO（氏名） 石井 雅也（TEL）03(6834)7770
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA (注)1		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,130	11.5	362	11.5	234	2.2	239	11.6	178	25.5
2024年3月期中間期	3,704	—	324	—	229	—	214	—	142	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 112百万円(26.9%) 2024年3月期中間期 88百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 36.48	円 銭 35.63
2024年3月期中間期	29.51	28.52

- (注) 1. EBITDA=営業利益+償却費
2. 当社は、2023年3月期中間期については中間連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期中間期の対前年中間期増減率については記載していません。
3. 当社は、2023年4月19日付で東証スタンダード市場へ上場しております。そのため、2024年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益の計算においては、新規上場日から2024年3月期中間期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 5,776	百万円 3,448	% 59.6
2024年3月期	6,295	3,628	57.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 3,441百万円 2024年3月期 3,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 60.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 30円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	16.7	840 ~890	△1.1 ~4.8	450 ~500	△30.1 ~△22.3	320 ~370	△48.5 ~△40.5	140 ~180	△65.0 ~△55.0	28.63 ~36.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社(社名) ワークキャリア(株)、M&A BASEサーチファンド1号投資事業有限責任組合

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	4,855,440株	2024年3月期	4,916,290株
2025年3月期中間期	—株	2024年3月期	—株
2025年3月期中間期	4,889,439株	2024年3月期中間期	4,814,806株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の経営成績は次のとおりであります。

当社グループは「両利きの経営」を成長戦略に掲げ、プラットフォーム事業及びブロードバンド事業のユーザー数拡大による「既存事業の成長」を実現しながら、その収益基盤を活用したSaaS・DX事業への積極投資による「新たな事業の柱の構築」、M&Aによる「事業ポートフォリオの強化」を図り、持続的な成長を目指しております。

当連結会計年度は、中長期での利益の最大化を目指し、売上高の成長を優先する方針であることから、着実な成長が見込めるコンサルティングサービス(プラットフォーム事業)を中心に広告宣伝費を大幅に増加させております。また、新規事業として順調に立ち上がっているSaaS・DX事業を中心に優秀な人材を積極的に採用する等の先行投資を行っております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は4,130,043千円(前年同期比11.5%増)、EBITDAは362,275千円(前年同期比11.5%増)、営業利益は234,837千円(前年同期比2.2%増)、経常利益は239,888千円(前年同期比11.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は178,350千円(前年同期比25.5%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業には、「エキサイト電話占い」や「エキサイトお悩み相談室」等のコンサルティングサービス、「ウーマンエキサイト」等のメディアサービス、オンライン診療支援サービス「EMININAL」等が属しております。

当中間連結会計期間は、コンサルティングサービスにおいて、良質な占い師・カウンセラーの獲得に加え、積極的なプロモーション投資により新規会員の獲得が進み順調に拡大しました。

この結果、売上高は1,807,291千円(前年同期比16.2%増)、営業損益は287,739千円の利益計上(前年同期比12.1%増)となりました。

(ブロードバンド事業)

ブロードバンド事業には、「BBエキサイト」等のISP(注1)サービス、格安SIMの「エキサイトモバイル」等のMVNO(注2)サービスが属しております。

当中間連結会計期間は、「BBエキサイト」を中心としたISPサービスが堅調に推移したことから、売上高は1,873,324千円(前年同期比1.2%増)、営業損益は294,795千円の利益計上(前年同期比9.0%減)となりました。

(注)1 Internet Service Providerの略で、公衆通信回線等を経由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業。

(注)2 Mobile Virtual Network Operatorの略で、自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信事業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業。

(SaaS・DX事業)

SaaS・DX事業には、「FanGrowth」や「Sharely」等のSaaS事業、Webシステムの開発・運用を行うDX事業が属しております。

当中間連結会計期間は、SaaS事業の成長により、売上高は450,716千円(前期比51.2%増)、営業損益は53,541千円の損失計上(前年同期間64,826千円の損失計上)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は5,776,764千円(前連結会計年度末比519,091千円の減少)となりました。これは、主に配当金及び法人税等の支払に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は2,327,995千円(前連結会計年度末比339,399千円の減少)となりました。これは、主に未払法人税等及び借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は3,448,768千円(前連結会計年度末比179,691千円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払に伴う資本剰余金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて564,974千円減少し、1,965,530千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、164,388千円となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益の計上239,016千円、減価償却費92,266千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、283,085千円となりました。これは、主に事業拡大を目的とした無形固定資産の取得による支出110,873千円、本社移転を目的とした敷金の差入による支出96,917千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は446,277千円となりました。これは、主に配当金の支払294,610千円、長期借入金の返済による支出95,888千円、自己株式の取得による支出65,681千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表した数値を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年11月14日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,530,505	1,965,530
売掛金	1,255,903	1,219,955
棚卸資産	26,187	15,139
その他	143,823	128,762
貸倒引当金	△34,331	△46,628
流動資産合計	3,922,088	3,282,759
固定資産		
有形固定資産	1,006	7,145
無形固定資産		
のれん	831,521	833,587
ソフトウェア	481,427	612,615
その他	273,952	159,883
無形固定資産合計	1,586,901	1,606,086
投資その他の資産		
投資有価証券	634,992	646,488
その他	220,261	302,429
貸倒引当金	△69,395	△68,145
投資その他の資産合計	785,858	880,772
固定資産合計	2,373,767	2,494,004
資産合計	6,295,855	5,776,764
負債の部		
流動負債		
買掛金	814,084	749,022
1年内返済予定の長期借入金	1,140,000	1,045,000
未払法人税等	232,375	61,332
その他	480,934	465,428
流動負債合計	2,667,395	2,320,784
固定負債		
長期借入金	—	7,211
固定負債合計	—	7,211
負債合計	2,667,395	2,327,995

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,190	18,142
資本剰余金	2,237,112	1,881,404
利益剰余金	1,482,730	1,661,080
株主資本合計	3,733,033	3,560,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△110,276	△118,759
その他の包括利益累計額合計	△110,276	△118,759
非支配株主持分	5,703	6,900
純資産合計	3,628,460	3,448,768
負債純資産合計	6,295,855	5,776,764

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,704,555	4,130,043
売上原価	1,962,980	2,062,863
売上総利益	1,741,574	2,067,179
販売費及び一般管理費	1,511,724	1,832,342
営業利益	229,849	234,837
営業外収益		
受取利息	10	580
受取配当金	8,486	9,899
その他	1,043	1,541
営業外収益合計	9,540	12,021
営業外費用		
支払利息	5,364	6,085
上場関連費用	17,813	—
その他	1,308	885
営業外費用合計	24,486	6,970
経常利益	214,904	239,888
特別損失		
事業撤退損	—	871
その他	0	—
特別損失合計	0	871
税金等調整前中間純利益	214,904	239,016
法人税、住民税及び事業税	94,366	42,595
法人税等調整額	△22,262	16,874
法人税等合計	72,104	59,470
中間純利益	142,800	179,546
非支配株主に帰属する中間純利益	738	1,196
親会社株主に帰属する中間純利益	142,061	178,350

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	142,800	179,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,431	△67,367
その他の包括利益合計	△54,431	△67,367
中間包括利益	88,368	112,179
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	87,630	110,982
非支配株主に係る中間包括利益	738	1,196

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	214,904	239,016
減価償却費	76,502	92,266
のれん償却額	18,624	35,171
売上債権の増減額(△は増加)	21,498	59,125
未収入金の増減額(△は増加)	58,083	3,162
仕入債務の増減額(△は減少)	58,695	△68,078
未払金の増減額(△は減少)	22	34,390
その他	49,241	△23,358
小計	497,573	371,696
利息及び配当金の受取額	7,198	10,479
利息の支払額	△5,260	△6,050
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14,777	△211,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	484,734	164,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△151,126	△110,873
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△25,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△96,917
その他	11,979	△50,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,146	△283,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△95,716	△95,888
配当金の支払額	—	△294,610
株式の発行による収入	1,275,948	—
自己株式の取得による支出	—	△65,681
その他	△17,182	9,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,163,049	△446,277
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,508,636	△564,974
現金及び現金同等物の期首残高	1,175,527	2,530,505
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,684,164	1,965,530

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額
	プラットフォーム	ブロード バンド	SaaS・DX	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,555,925	1,850,578	298,052	3,704,555	—	3,704,555
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,555,925	1,850,578	298,052	3,704,555	—	3,704,555
セグメント利益又は損失(△)	256,764	324,042	△64,826	515,980	△286,131	229,849

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△286,131千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額
	プラットフォーム	ブロード バンド	SaaS・DX	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,807,291	1,873,324	449,427	4,130,043	—	4,130,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,289	1,289	△1,289	—
計	1,807,291	1,873,324	450,716	4,131,332	△1,289	4,130,043
セグメント利益又は損失(△)	287,739	294,795	△53,541	528,992	△294,155	234,837

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△294,155千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS・DX	
売上高				
課金収入	1,068,627	1,812,187	91,911	2,972,726
広告収入	352,049	151	—	352,200
その他	135,247	38,239	206,141	379,628
顧客との契約から生じる収益	1,555,925	1,850,578	298,052	3,704,555
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,555,925	1,850,578	298,052	3,704,555

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS・DX	
売上高				
課金収入	1,194,732	1,839,205	172,132	3,206,069
広告収入	446,262	314	—	446,576
その他	166,296	33,805	277,295	477,396
顧客との契約から生じる収益	1,807,291	1,873,324	449,427	4,130,043
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,807,291	1,873,324	449,427	4,130,043

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2024年9月27日開催の取締役会において、株式会社NAPBIZの株式を取得し、子会社化することを決議し、2024年9月30日付で株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式譲渡契約に基づき、当社は2024年10月1日付で当該株式を取得しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社NAPBIZ

事業の内容 「NAPBIZブログ」の運営、インフルエンサーマーケティング

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、「両利きの経営」を成長戦略に掲げており、プラットフォーム事業及びブロードバンド事業のユーザー数拡大による「既存事業の成長」を実現しつつ、SaaS・DX事業への積極投資による「新たな事業の柱の構築」、M&Aによる「事業ポートフォリオの強化」を図り、持続的な成長を目指しております。

メディアサービス(プラットフォーム事業)の「ウーマンエキサイト」は、主に20代から40代の子育てを担う女性に向けて様々な情報を発信しております。近年は、親しみやすく、拡散しやすいコミックエッセイが多くユーザーから支持を得ており、サービス拡大に貢献しております。

株式会社NAPBIZは、マンガ系インフルエンサーに特化したWEBメディア「NAPBIZブログ」を運営しており、Instagram、X等で人気のインフルエンサー約300名を専属として抱え、マンガコンテンツを提供しております。

当社は、株式会社NAPBIZの全株式を取得し、連結子会社化することにより、長年にわたり培ってきたメディアの運営経験を生かし、良質なコンテンツの拡充を図ることで、メディアサービスの成長を加速させてまいります。

(3) 企業結合の日程

取締役会決議 2024年9月27日

契約締結日 2024年9月30日

株式取得日 2024年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	145,000千円
取得原価		145,000千円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 22,000千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定していません。

(取得による企業結合)

当社は、2024年10月28日開催の取締役会において、ONE MEDICAL株式会社の株式を取得し、子会社化することを決議し、2024年10月29日付で株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式譲渡契約に基づき、当社は2024年11月1日付で当該株式を取得しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 ONE MEDICAL株式会社

事業の内容 オンライン診療支援事業、メディア事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、「両利きの経営」を成長戦略に掲げ、プラットフォーム事業及びブロードバンド事業のユーザー数拡大による「既存事業の成長」を実現しながら、その収益基盤を活用した SaaS・DX 事業への積極投資による「新たな事業の柱の構築」、M&A による「事業ポートフォリオの強化」を図り、持続的な成長を目指しております。

プラットフォーム事業において、オンライン診療支援事業としてマウスピース歯科矯正サービス「EMININAL (エミニナル)」、メディア事業として「ウーマンエキサイト」や「エキサイトニュース」等を運営しております。特に、2021年7月に新規事業として開始した「EMININAL (エミニナル)」は、順調に拡大しており、今後の成長が期待できる状況となっております。

ONE MEDICAL株式会社は、2022年より開始したオンライン診療支援事業が急速に成長しており、月商約1億円まで伸長しております。コロナ禍以降、オンライン診療市場は急速に拡大しており、今後も継続的な成長が見込まれます。

両社ともオンライン診療事業を中心に同領域でサービスを展開しており、ビジネスモデルが同様であること、また当社が展開する事業のユーザー基盤を活用し、ONE MEDICAL株式会社のオンライン診療支援事業への相互送客が見込まれることから、シナジーは大きいと考えております。ONE MEDICAL株式会社の全株式を取得し、連結子会社化することにより、オンライン診療支援事業を中心に成長を加速させてまいります。

(3) 企業結合の日程

取締役会決議 2024年10月28日

契約締結日 2024年10月29日

株式取得日 2024年11月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	3,862,000千円
取得原価		3,862,000千円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンス費用等(概算額) 17,000千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳
現時点では確定しておりません。

(多額な資金の借入)

当社は、2024年10月28日開催の取締役会において、ONE MEDICAL株式会社の株式取得を目的に金融機関から必要な資金の借入を行うことを決議し、以下のとおり実行いたしました。

借入先	株式会社みずほ銀行
借入総額	3,862,000千円
契約締結日	2024年10月30日
借入日	2024年11月1日
返済期日	2031年10月31日(7年間)
借入金利	基準金利+0.4%
返済方法	分割返済
担保等の有無	ONE MEDICAL株式及び特定債務保証
財務制限条項	①2025年3月末日に終了する本決算期及びそれ以降の各本決算期における借入人の連結ベースの当期利益が二期連続して赤字にならないこと。 ②2025年3月末日に終了する本決算期及びそれ以降の各本決算期における借入人の連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、直近の決算期における借入人の連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の80%以上に維持すること。